

第2回 こどものしごとフェスティバル報告書

日時：平成29年 6月25日(日) 13:00～17:30

場所：資生堂FS汐留ビル8階

参加総数：東京近郊の大学・短期大学・専門学校の学生 約90名
(福祉系学部・保育系学部・教育系学部等)

協力：(公財)資生堂社会福祉事業財団

セミナープログラム：

第1部・・・シンポジウム～若手職員が本音で語る、社会的養護の実際とやりがい～

乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設・自立援助ホーム・児童心理治療施設の紹介

◇シンポジスト◇

水谷 美紗(二葉乳児院) ・草野 彩佳(二葉学園)

中村 直紀(長谷場新宿寮) ・竹入 明日美(横浜いずみ学園)

浅香 嘉光(皐月)

第2部・・・各ブースに分かれての施設紹介

◇ブース出展施設・法人◇(15ブース)

法人 二葉学園・二葉乳児院、東京恵明学園児童部・乳児部、社会福祉法人青少年福祉センター
(一般) 社会福祉法人大洋社

児童養護施設 八楽児童寮、三光塾、つくば香風寮、希望の家
(合同) 救世軍世光寮・機恵子寮、至誠学園・至誠大地の家・至誠大空の家
(一般) 聖ヨゼフホーム、生長の家神の国寮

母子生活支援施設 皐月
(合同) 江戸川区そよ風松島荘・中野区さつき寮・ふたばホーム
(一般) 愛の家ファミリーホーム

所感

社会的養護施設への就職に関心を持っている学生に、社会的養護現場との接点を提供しようとの思いから生まれたこの企画は、昨年大変好評を博し、今回は東社協の各部会の協力を得て、都内一般施設・法人からの参加の申込みを受け付け、前回の1.5倍の15ブース設置を実現した。第1部のシンポジウム「若手職員が本音で語る、社会的養護の実際とやりがい」では、学生と年齢の近い、経験年数3～5年目の職員より具体的な業務内容や仕事の上で感じる事、やりがいなどが本音で語られ、学生の興味を集めた。第2部の施設ブースでは、業種を超えてさまざまな施設・法人ブースを熱心にまわる学生の姿を多く目にした。また児童福祉について総合的な相談を受け付けるSTARSブースや全国から寄せられたパンフレットコーナーなど、閉会時間まで多くの学生が行き交いにぎわいを見せた。参加した学生の声として、回収したアンケートのほぼ全てから(就活に)「大いに役立った」「役立った」と回答があり、また「今まで社会的養護施設に特化した就活イベントがなかったのでとても貴重な機会だった」「学校では習わない多くのことを学べた」「就職活動に参考になった」「また開催してほしい」等の多くの意見が寄せられた。ブース参加をした施設からも「施設の宣伝効果が大きかった」「施設相互の交流も図れた」「次回もまた参加したい」との声があがった。学生と施設の出会いの場として、1人でも多くの学生と施設とをつなげ、またNPOSTARSの社会的認知度を高めるため広報の方法も検討し、次回以降更に盛会となるよう活かしていきたい。

文責・NPOSTARS(Tokyo-STARS)

